

# 書類交付及び教務ガイダンス

建築都市工学部 住居・インテリア学科 1年次

# 書類交付

下記の順路に沿って各自配付資料を受け取り座席に着席してください。

## 一番前の机上の配付物



順路

- ① まずステージ上の配付物を一人一部ずつ取り、座席に座ってください。
- ② 着席の際は、番号札がついている座席に座ってください。
- ③ 着席後、アンケート説明資料を確認し、  
アンケートに必ず回答してください。  
(アンケートの回答をもって出席とします)

# アンケート

## 1年次ガイダンス座席位置確認のお願い

コロナウイルス感染拡大防止のため、座席位置確認にご協力ください。

以下の要領に沿ってアンケートに回答してください。

- ① QRコードでアンケートサイトに移動する。

A smartphone screen displays a survey form titled "ガイダンス座席位置 確認について" (Guidance Seat Position Confirmation). The form includes a header, a message "匿名で返信します。" (Responding anonymously.), a required field "1. 学籍番号\*" (1. Student ID\*), and a text input box with the placeholder "回答を入力してください" (Please enter your answer). A green "送信" (Send) button is at the bottom. A red dashed arrow points from the "学籍番号" field on the student ID card to the input box.

# 教務ガイダンス

建築都市工学部 住居・インテリア学科 1年次



大学とは

卒業するためには

履修登録の仕方（時間割作成）

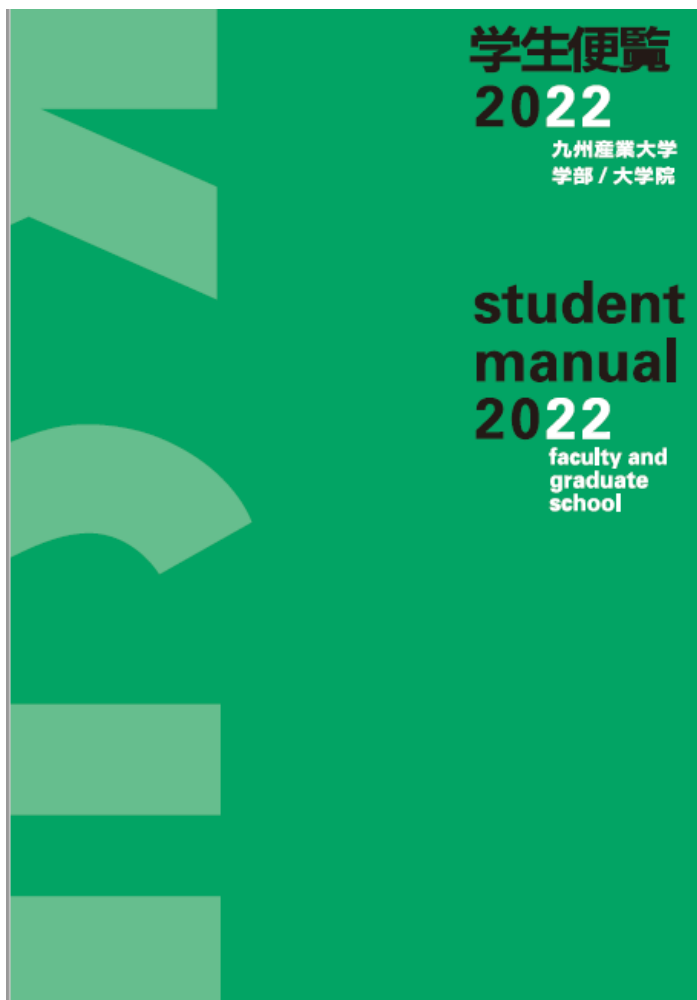
大学生活を過ごす上で

# 高校と大学の違い

	高校	大学
学期制	3学期制(原則)	2学期制(前学期・後学期)
授業時間	50分	100分
授業時間割 (履修)	指定されている (クラス共通)	自分自身で <b>選択</b> する
クラス制及び クラス担任	あり (1クラス10~20人程度)	あり (ゼミナール担当教員)
教室	指定されている (クラス共通)	選択した授業科目によって <b>異なる</b> (授業科目ごとに指定)
卒業要件	学年制(原則)	<b>単位制</b> (124単位以上) 各学部の卒業に必要な単位数を修得する

**大学生は「自己選択→自己決定→自己責任」**

# 学生便覧



在学中、すべてのルールは  
学生便覧に基づいている

学年暦(P.1)

## 1年間のスケジュール

一般のカレンダーと**異なり**、  
休暇期間・祝日授業日等  
を掲載

# 学年暦

前学期

後学期

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

授業開始日

4/8～全14回

9/15～全14回

補講日（土曜日）

4/9,4/23,5/6,5/14,5/28,6/11,  
6/25,7/9,7/23

9/24,10/8,10/15,11/12,11/26,12/3,  
12/17

定期試験

7/25～7/30

1/16～1/21

祝日授業実施日

7/18

9/19,9/23,11/23

成績公開日

8/30

3/10

休業開始日

夏季休業 7/31～

冬季休業 12/27～



# K'sLife(ケースライフ)



- ▶ [学生、教員、職員の方はこちら](#)
- ▶ [保護者の方はこちら](#)

個人の履修登録、成績、連絡通知について  
閲覧可能なWEBサイト  
**※毎日確認すること**

## 時間割、その他連絡について 閲覧可能なWEBサイト

### 教務部ホームページ

授業や時間割など教務に関する情報を掲載していますので皆さん確認をしてください。

#### トップページ

- 教務課からのお知らせ

教務関係のお知らせを掲載します。

- よくある質問

問い合わせが多い内容を掲載します。

- 利用の手引き

- 学籍関係

- 教務の紹介

etc.....

#### 学部のページ

- 履修・授業・卒業に関すること

履修規程の要点を分かりやすくまとめました。  
卒業要件や履修のルールを確認してください。

- 時間割

授業の時間割を掲載しています。  
試験前は試験時間割を掲載します。

- 学部からのお知らせ

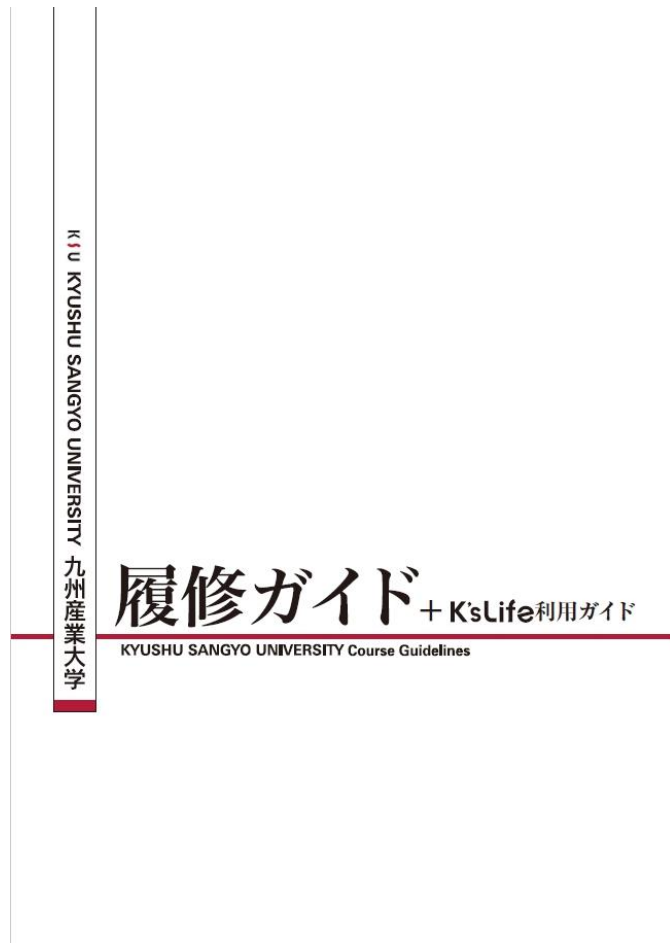
教務関係のお知らせを掲載します。

etc.....

<https://www.kyusan-u.ac.jp/eas/>



# 履修登録



自分で時間割を作成し、  
K'sLifeで授業科目を  
**WEB登録**すること

本年度の履修に関する手引書。  
講義受講の注意事項を記載。  
必ず一読し、履修登録すること。

# シラバス

科目コード	DFG30001		
科目名	九州地域学		
担当教員	<a href="#">千 相哲</a> <a href="#">木村 俊大</a> <a href="#">古賀 初生</a> <a href="#">栗原 優</a> <a href="#">末松 剛</a> <a href="#">山下 永子</a> <a href="#">小池 高史</a> <a href="#">高山 和幸</a> <a href="#">田代 雅彦</a> <a href="#">基橋 誠</a> <a href="#">大万 愛子</a> <a href="#">宮岡 祐司</a> <a href="#">森下 俊一郎</a> <a href="#">豊后 茂</a>		
対象学年	1年	クラス	[001]
講義章	N 3 0 2 教章	開講学期	後期
曜日・時限	火 4	単位数	2
授業形態		単位数	2
準備事項			
備考			
実務家教員	<input type="checkbox"/>		
A 講義概要/Class Outline	<p>地域を取り巻く環境が大きく変化していく中で、地域住民が地域を見直し、誇りを持ち続けられる社会を実現し、地域社会が自律性・独自性を維持するためには、地域の文化的資源の再認識と価値付けが求められる。この授業では、専門領域の異なる教員が連携し、九州の地域社会、経済、産業、人々の暮らしを総合的に概観しながら、九州の地域課題の本質の基本認識、問題解決に必要な考え方、専門領域横断的分析方法や考察方法について学ぶ。【本授業は対面と遠隔を組み合わせて実施し、対面・遠隔の実施日程は初回の授業で指示します】</p>		
B 講義計画(テーマ及び学習内容)	回	内容	
	1	九州の観光特性と観光ビッグバンについて学ぶ。	
	2	九州地域の地理的特性と主要産業の分布について、他の地域との関係について学ぶ。	
	3	九州地域における芸術文化を通じた地域活性化の取り組みについて学ぶ。	
	4	九州地域における農業について、その特徴を農産物ブランドから学ぶ。	
	5	九州地域における地方自治の現状と課題について学ぶ。	
	6	九州地域における様々な課題について、憲法、行政法、地方自治法について学ぶ。	
	7	公的統計を紐解きながら、九州地域の人口構成・移動、住まい、暮らしについて学ぶ。	
	8	九州主要地域の国際戦略・都市マーケティング戦略について学ぶ。	
	9	地域に根ざした歴史史料に着目し、先人の育んできた地域社会・暮らしについて学ぶ。	
	10	アニメ聖地巡礼による九州地域への誘客の可能性について、事例から学ぶ。	
	11	温泉王国九州の魅力とは何か。温泉地域の観光の動向とまちづくりについて学ぶ。	
	12	九州の温泉旅館のおもてなしマネジメントについて学ぶ。	
	13	九州の旅行業界のニュービジネスについて学ぶ。	
	14	九州はひとつの理念と九州観光のブランディングについて学ぶ。	
C 到達目標/Class Goal	九州の地域社会や地域課題について学ぶことにより、学部全体の教育を理解し、地域社会の発展に貢献できる人材の育成を目指す。		
D 準備学習の内容(事前・事後学習)	<p>事前学習：教科書の該当部分を事前に読んで講義に臨むこと。(30時間程度)</p> <p>事後学習：教科書で講義内容を復習し、基礎知識や観光用語を確認すること。</p>		
E 評価基準Grading Criteria	地域共創学部授業科目履修規程「成績評価基準」に基づいて評価する。秀で、可(C) 60点から69点まで、不可59点以下		
F 評価方法/Grading Method	授業毎の小テストの結果を総合して評価する。		
G 受講上の注意/Class Rules	講義中は私語を慎むこと。また、講義章は準常指定を行う。		
H 受講前提/Prerequisite	本科目は地域共創学部の全員履修科目であるため、受講生数が教章のキャパをオーバーする場合は、地域共創学部の学生の履修を優先する。		
I 関連する科目Related Class	観光関連科目、地域づくり関連科目		

授業科目の内容・学修計画等を記載  
**K'sLifeで閲覧可能**

※シラバスを確認の上で  
履修登録すること

# 出席

入室登録	授業開始 <b>10分前</b> から 授業開始 <b>(チャイム)</b> まで
退室登録	授業終了 <b>15分前</b> から 授業終了 <b>10分後</b> まで

※遠隔授業は別途指示に従うこと

出席の登録は、各教室に設置のICカードリーダーに  
学生証をかざす必要がある。

※学生証をかざす**時間帯**には注意すること。

# 休講・補講

休講：授業担当者のやむを得ない理由で授業が行われないこと。

補講：休講した授業を補うために行う授業。  
土曜日または平日の6限に実施。

※休講・補講の情報は**K'sLifeで通知**。

# 大学の学修

1 時間割を作成、WEB履修登録を行う

時間割確定後、教科書を購入

2 授業に出席

休講・補講に気を付けること

3 レポート提出等、定期試験

4 卒業に必要な単位を修得

5 卒業



学生便覧・履修ガイド・  
授業時間割表を参照すること

# スケジュール

大学とは

卒業するためには

履修登録の仕方（時間割作成）

大学生活を過ごす上で



# 卒業要件と単位認定方法

## 「学則」 大学全体に関するルール

- ・ 第15条：卒業要件  
別表第10は、P.67に記載。  
卒業までに **1 2 4 単位以上** 必要。
- ・ 第18条：単位の認定  
授業科目修了の認定は、筆記又は口頭による試験や  
その他適当な方法によって行われる。

成績評価は以下表示形式。

**秀(S)・優(A)・良(B)・可(C)**・不可(D/E)

**単位修得**

# 教育課程

## 基礎教育科目

広く様々な学問を学び  
人間力を養う

## 外国語科目

外国語によるコミュニケーション能力を養う  
(英語・初修外国語)  
「聞く・話す・読む・書く」

## 専門科目

特定の分野について  
専門的に学ぶ  
(学部・学科で異なる)

**卒業（124単位以上）**

# 卒業要件【選択必修・選択科目について】

## 建築都市工学部 履修規程第5条：卒業要件

授業科目区分		授業科目及び単位数			
		建築学科		住居・インテリア学科	都市デザイン工学科
		建築基本コース	建築総合コース		
専門科目	必修科目	74単位	78単位	66単位	56単位
	選択必修科目	—	—	14単位以上	—
	選択科目	30単位以上	26単位以上	24単位以上	48単位以上
基礎教育科目		14単位以上		14単位以上	14単位以上
外国語科目		英語6単位以上		英語6単位以上	英語6単位以上
合計		124単位以上		124単位以上	124単位以上

# 卒業要件【選択必修・選択科目について】

建築都市工学部 住居・インテリア学科

\*印は必修科目 △印は選択必修科目

区 分	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
学部共通	基礎	*基礎数学 2 *基礎物理 2 *建築都市入門 2	工業概論 2 インターンシップ 2	職業指導 2 プログラミング入門 2 建築デザイン 2 保存修景計画 2 基礎測量学 2 グリーンインフラ論 2 建築製図Ⅰ 2	建築製図Ⅱ 2				
	設計基幹科目	I. 空間	*空間設計基礎実習 2 *空間設計概論 2						
		II. 住居	*住居概論 2 *住居設計実習 2 *住居計画 2	福祉住環境 2					
		III. 業務系施設	*業務系施設インテリア概論 2	*業務系施設インテリア設計実習 2 *業務系施設インテリア計画 2					
IV. 住居系複合施設			*住居系複合施設インテリア設計実習 2 *住居系複合施設インテリア計画 2						
専門科目	設計基幹スタジオ				△設計基幹スタジオ実習Ⅰ 2 △設計基幹スタジオ実習Ⅱ 2 △設計基幹スタジオ特論Ⅰ 4 △設計基幹スタジオ特論Ⅱ 4 △空間デザイン論 2 △商環境デザイン論 2 △住生活デザイン論 2 △再生デザイン論 2	*卒業研究 6			
	基礎スタジオ				△基礎スタジオ実習Ⅰ 2 △基礎スタジオ実習Ⅱ 2 △基礎スタジオ特論Ⅰ 4 △基礎スタジオ特論Ⅱ 4 △家具・住居デザイン論 2 △地域貢献実践論 2 △居住環境デザイン論 2 △構造デザイン論 2				
基礎科目	共通	*実測・製図実習 2 *設計支援ソフト実習Ⅰ 2 *住居数値情報処理入門 2 *フィールドツアー実習 2	*建築法規 2 設計支援ソフト実習Ⅱ 2	プレゼンテーション実習 2 インテリア製図 2					
	計画	*家具・プロダクト概論 2	*近代建築史 2 *色彩・照明論 2 *建築・施設計画 2 地域づくり論 2 デザインサーベイ演習 2 建築史 2	*都市計画 2 インテリアコーディネート論 2 住宅エクステリア論 2 不動産学入門 2 照明ライティング論 2					
	構造	*住宅構法概論 2 *建築材料 2	*構造力学Ⅰ 2 *構造力学Ⅱ 2	*建築施工 2 *各種構造 2					
	環境・設備	*住居環境入門 2	*住居設備 2						

## 〈専門科目〉

### 年次別授業科目配当表

まずは「1年次」の欄を見よう

4年間で履修できる専門科目が  
全て記載されている。

\* = 必修科目

必修科目は必ず履修しよう！

# 卒業要件【外国語科目について】

年次別授業科目配当表

建築都市工学部共通		第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	
区分		授業科目(単位)	授業科目(単位)	授業科目(単位)	授業科目(単位)	
基礎教育科目	科目群	大学スタディスキル (2)				
	学修基礎	基礎英語(文筆力) (2)	基礎英語(伝達力) (2)			
		基礎数学(計算力) (2)	基礎数学(読解力) (2)			
		プログラミング導入 (2)				
		キャリアデザイン (2)				
		キャリア形成基礎 (2)	キャリア開発論 (2)	キャリア形成実践 (2)		
	キャリア	主催者リテラシー (2)				
		消費者リテラシー (2)				
		起業力 (2)				
		学生サポーター (2)				
		企業ガバナンス入門 (2)				
	文理連携科目	実践クロス領域 (2)		オンライン実践クロス領域 (2)		
	クロス	実践クロス講習 (2)				
		実践教育実践講習 (2)				
		課題解決講習 (2)				
		職業講座 (2)				
	クロス	実践コラボ講座 (2)				
		実践コラボ講習 (2)				
	教育科目	人文系科目	日本の歴史 (2)			
			世界の歴史 (2)			
			哲学の世界 (2)			
			文学の世界 (2)			
			心理学の世界 (2)			
		文化人類学 (2)				
		社会学・実務史 (2)				
		芸術の世界 (2)				
		人文科学の世界 (2)				
法系科目		法学 (2)				
		日本国憲法 (2)				
		現代の政治 (2)				
		地理の世界 (2)				
		人権・同和問題 (2)				
	インターネットと社会 (2)					
	社会科学の世界 (2)					
自然系科目	科学の世界 (2)					
	地球環境 (2)					
	生物の世界 (2)					
	くらしの中の数学 (2)					
	自然科学の世界 (2)					
	スポーツ科学講習 (2)					
	心と身体の関係 (2)					
外国語科目	英語	Listening & Speaking I (1) Listening & Speaking II (1) Listening & Speaking III (1) Listening & Speaking IV (1) English Plus (1) English Expressions (2)				
	英会話	Four Skills I (2) TOEIC Plus (2)				
		Four Skills II (2) Reading Focus (2)				
		Labo Training I (1) Writing Focus (2)				
		Labo Training II (1) Business English (2)				
		Domestic Job Training (4) English Pronunciation (2)				
		Overseas Job Training (4) Introduction to Translation (2)				
		Global Perspectives (2)				
	初級外国語科目	ドイツ語Ⅰ (1) ドイツ語Ⅱ (1) ドイツ語Ⅲ (1) ドイツ語Ⅳ (1)				
		ドイツ語会話Ⅰ (1) ドイツ語会話Ⅱ (1) ドイツ語会話Ⅲ (1) ドイツ語会話Ⅳ (1)				
	フランス語Ⅰ (1) フランス語Ⅱ (1) フランス語Ⅲ (1) フランス語Ⅳ (1)					
	フランス語会話Ⅰ (1) フランス語会話Ⅱ (1) フランス語会話Ⅲ (1) フランス語会話Ⅳ (1)					
	韓国語Ⅰ (1) 韓国語Ⅱ (1) 韓国語Ⅲ (1) 韓国語Ⅳ (1)					
	韓国語会話Ⅰ (1) 韓国語会話Ⅱ (1) 韓国語会話Ⅲ (1) 韓国語会話Ⅳ (1)					
	実用韓国語 (1) 上級韓国語 (1)					
	中国語Ⅰ (1) 中国語Ⅱ (1) 中国語Ⅲ (1) 中国語Ⅳ (1)					
	中国語会話Ⅰ (1) 中国語会話Ⅱ (1) 中国語会話Ⅲ (1) 中国語会話Ⅳ (1)					
	広東中国語 (1) 上級中国語 (1)					
※「クロス科目」は、各学部の学生が交叉(クロス)して取り組む授業科目を指す。 ※「コラボ科目」は、各学部の教員が協働(コラボレーション)して実施する授業科目を指す。						
区分		第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	
関連科目	日本語	アカデミック日本語(読解・書く)A (1) アカデミック日本語(読解・書く)A (1)	アカデミック日本語(読解・書く)B (1) アカデミック日本語(読解・書く)B (1)	アカデミック日本語(読解・書く)C (1) アカデミック日本語(読解・書く)C (1)	アカデミック日本語(読解・書く)D (1) アカデミック日本語(読解・書く)D (1)	
		アカデミック日本語(読解・書く)E (1) アカデミック日本語(読解・書く)E (1)	アカデミック日本語(読解・書く)F (1) アカデミック日本語(読解・書く)F (1)	アカデミック日本語(読解・書く)G (1) アカデミック日本語(読解・書く)G (1)	アカデミック日本語(読解・書く)H (1) アカデミック日本語(読解・書く)H (1)	
		アカデミック日本語(読解・書く)I (1) アカデミック日本語(読解・書く)I (1)	アカデミック日本語(読解・書く)J (1) アカデミック日本語(読解・書く)J (1)	アカデミック日本語(読解・書く)K (1) アカデミック日本語(読解・書く)K (1)	アカデミック日本語(読解・書く)L (1) アカデミック日本語(読解・書く)L (1)	
		アカデミック日本語(読解・書く)M (1) アカデミック日本語(読解・書く)M (1)	アカデミック日本語(読解・書く)N (1) アカデミック日本語(読解・書く)N (1)	アカデミック日本語(読解・書く)O (1) アカデミック日本語(読解・書く)O (1)	アカデミック日本語(読解・書く)P (1) アカデミック日本語(読解・書く)P (1)	
		アカデミック日本語(読解・書く)Q (1) アカデミック日本語(読解・書く)Q (1)	アカデミック日本語(読解・書く)R (1) アカデミック日本語(読解・書く)R (1)	アカデミック日本語(読解・書く)S (1) アカデミック日本語(読解・書く)S (1)	アカデミック日本語(読解・書く)T (1) アカデミック日本語(読解・書く)T (1)	
		アカデミック日本語(読解・書く)U (1) アカデミック日本語(読解・書く)U (1)	アカデミック日本語(読解・書く)V (1) アカデミック日本語(読解・書く)V (1)	アカデミック日本語(読解・書く)W (1) アカデミック日本語(読解・書く)W (1)	アカデミック日本語(読解・書く)X (1) アカデミック日本語(読解・書く)X (1)	
		アカデミック日本語(読解・書く)Y (1) アカデミック日本語(読解・書く)Y (1)	アカデミック日本語(読解・書く)Z (1) アカデミック日本語(読解・書く)Z (1)	アカデミック日本語(読解・書く)AA (1) アカデミック日本語(読解・書く)AA (1)	アカデミック日本語(読解・書く)AB (1) アカデミック日本語(読解・書く)AB (1)	
		アカデミック日本語(読解・書く)AC (1) アカデミック日本語(読解・書く)AC (1)	アカデミック日本語(読解・書く)AD (1) アカデミック日本語(読解・書く)AD (1)	アカデミック日本語(読解・書く)AE (1) アカデミック日本語(読解・書く)AE (1)	アカデミック日本語(読解・書く)AF (1) アカデミック日本語(読解・書く)AF (1)	
	アカデミック日本語(読解・書く)AG (1) アカデミック日本語(読解・書く)AG (1)	アカデミック日本語(読解・書く)AH (1) アカデミック日本語(読解・書く)AH (1)	アカデミック日本語(読解・書く)AI (1) アカデミック日本語(読解・書く)AI (1)	アカデミック日本語(読解・書く)AJ (1) アカデミック日本語(読解・書く)AJ (1)		
	アカデミック日本語(読解・書く)AK (1) アカデミック日本語(読解・書く)AK (1)	アカデミック日本語(読解・書く)AL (1) アカデミック日本語(読解・書く)AL (1)	アカデミック日本語(読解・書く)AM (1) アカデミック日本語(読解・書く)AM (1)	アカデミック日本語(読解・書く)AN (1) アカデミック日本語(読解・書く)AN (1)		
他言語	日本の歴史Ⅰ (2) 日本の歴史Ⅱ (2) 日本の文化Ⅰ (2) 日本の文化Ⅱ (2)	日本の政治経済Ⅰ(2) 日本の政治経済Ⅱ(2) 一般日本事情Ⅰ(2) 一般日本事情Ⅱ(2)				

## 〈基礎教育科目・外国語科目〉

## 年次別授業科目配当表

4年間で履修できる基礎教育科目

と外国語科目が

全て記載されている。

《卒業するまでに必要な単位数》

基礎教育科目：14単位以上

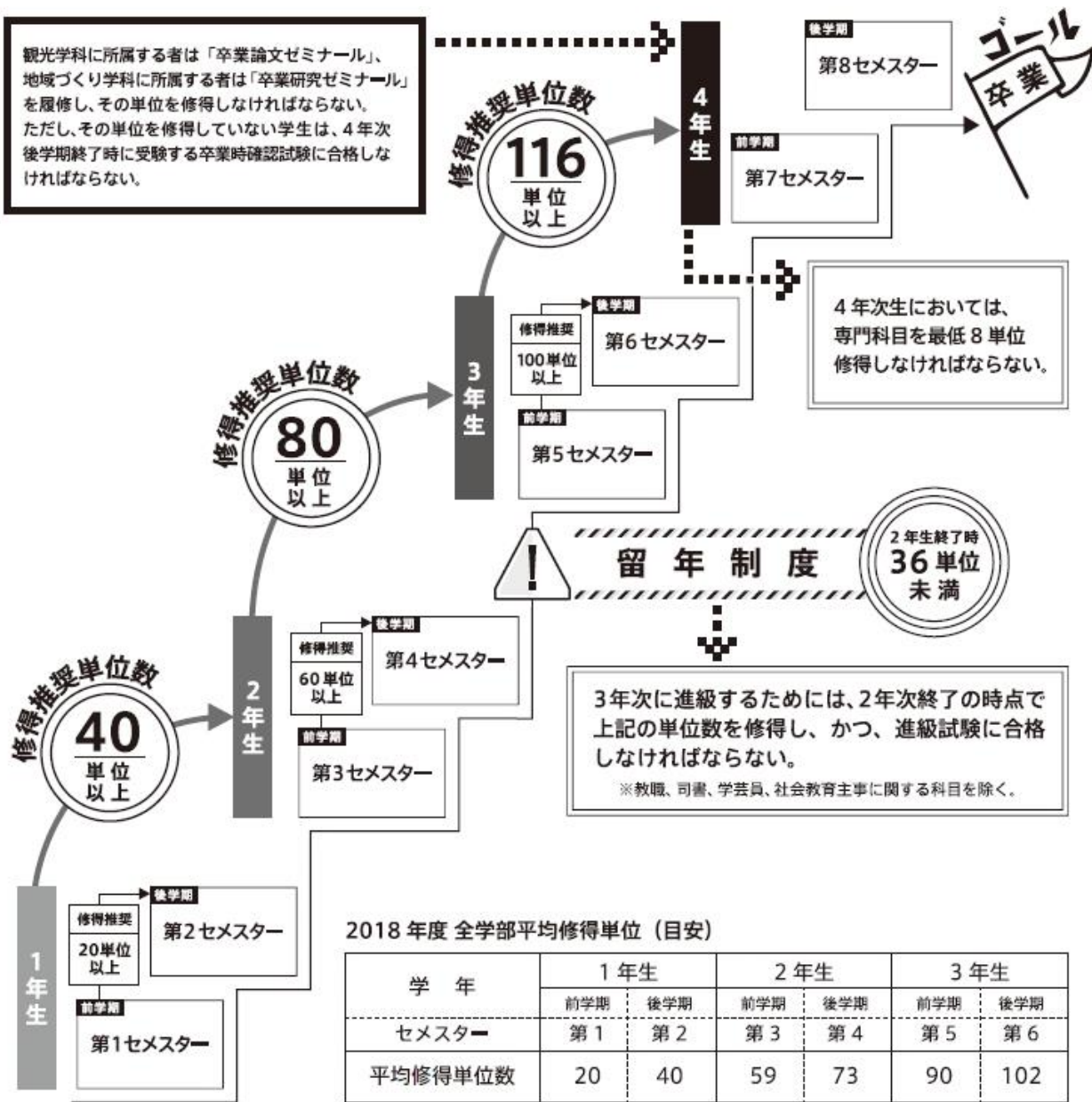
《卒業するまでに必要な単位数》

外国語 英語：6単位以上

※英語以外の外国語は卒業要件に含まれません。

# 卒業要件【修得推奨単位について】

観光学科に所属する者は「卒業論文ゼミナール」、地域づくり学科に所属する者は「卒業研究ゼミナール」を履修し、その単位を修得しなければならない。ただし、その単位を修得していない学生は、4年次後学期終了時に受験する卒業時確認試験に合格しなければならない。



左表を参考に、卒業までの**計画的**な単位修得を心掛けてください。

1年間を2学期制で実施することを「 Semester制」という。  
1年間に2 Semester実施。

2018年度 全学部平均修得単位 (目安)

学 年	1 年 生		2 年 生		3 年 生	
	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期
セメスター	第 1	第 2	第 3	第 4	第 5	第 6
平均修得単位数	20	40	59	73	90	102

# 卒業要件【履修制限について】

建築都市工学部履修規程第14条：履修制限

- 1年間で履修できる上限単位数

## 44単位

※注意：落とした単位数もカウントされます。

- 半期で履修できる上限単位数

## 28単位

※後学期の基礎数学再履修クラス、集中講義科目は履修上限には含まれません。

# 卒業要件【履修制限について】

## 入学から卒業までの履修制限



各年次ごとに履修制限があるため、しっかり理解して計画的に履修登録を行ってください。



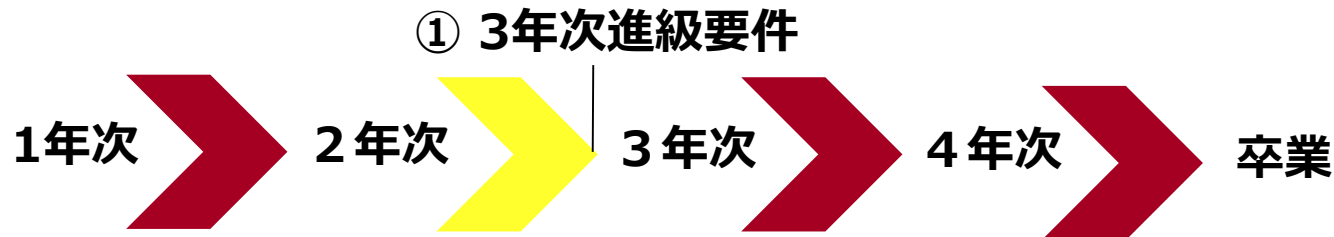
# 卒業要件【履修制限について】

## 《① 3年次進級要件》

1年次及び2年次に配当されている授業科目（基礎数学、基礎物理を含む）を56単位以上修得していなければ2年次のままとし、3年次に進級することができない。

つまり・・・**卒業延期決定！！**

学生便覧P.171



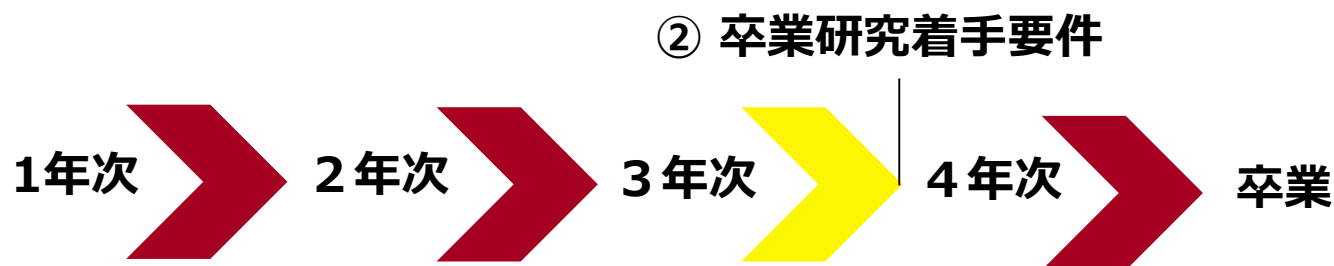
# 卒業要件【履修制限について】

## 《② 卒業研究着手要件》

卒業に必要な124単位のうち、第1年次及び第2年次配当の必修科目の48単位以上を含む100単位以上を修得していること。

つまり・・・**卒業延期決定！！**

学生便覧 P.170



# 卒業要件

## ◀③ 建築都市工学部卒業要件▶

卒業するまでに必要な単位は、**124単位**  
ただし、下記の卒業要件を満たさなければならない。

授業科目区分		授業科目及び単位数			
		建築学科		住居・インテリア学科	都市デザイン工学科
		建築基本コース	建築総合コース		
専門科目	必修科目	74単位	78単位	66単位	56単位
	選択必修科目	—	—	14単位以上	—
	選択科目	30単位以上	26単位以上	24単位以上	48単位以上
基礎教育科目		14単位以上		14単位以上	14単位以上
外国語科目		英語6単位以上		英語6単位以上	英語6単位以上
合計		124単位以上		124単位以上	124単位以上

### ③ 卒業要件

1年次



2年次



3年次



4年次



卒業

# スケジュール

大学とは

卒業するためには

**履修登録の仕方（時間割作成）**

大学生活を過ごす上で

# 授業時間割

## 本日配布している授業時間割表は3種類

- ① 「建築都市工学部科目授業時間割表」
  - ② 「KSU基盤教育科目・教職・留学生（日本事情）科目」
  - ③ 「KSU基盤教育科目（外国語科目・留学生の日本語）」
- ※ ②と③は全学共通

# 授業時間割【見方について】

時間割表には・・・

期別（前学期/後学期/通年）、講義科目、担当者、講義室等が記載

## ◎時間割表の見方

「●年次」:履修可能年度を確認してください。

「再履修」:再履修のみのクラス、「補習」:補習授業

【例】

再	・・・クラス等(再:再履修クラス)
*基礎物理	・・・科目区分 + 科目名
[207]中村賢	・・・クラスコード、担当者
8216	・・・教室
22～17(UH、UC合同)	・・・ <u>履修可能年度</u> (他学科と合同開講)

※必ず確認して欲しい点！

- ①科目区分
- ②履修可能年度

履修可能年度の数字は入学年度を表す。

(例) 22のみ [2022年度入学生のみを対象とする科目]

21～17 [2021～2017年度入学の学生を対象とする科目]

# 授業時間割【専門科目の注意点】

事前に履修登録されている専門科目

「基礎数学」「基礎物理」 / 「補習授業」  
プレイスメントテストの結果でクラス分け。

**※下位クラスは「補習授業」がセットになります！**

「補習授業」が登録されていた方は、必ず出席しましょう。

「基礎数学」「基礎物理」は、進級に関わる大切な科目。

数学や物理のことで分からないことがあれば、  
基礎教育サポートセンター（8号館2階）を利用しましょう。

# 授業時間割【見方について(2)】

木				
1限目	2限目	3限目	4限目	5限目
9:00~10:40	11:00~12:40	13:40~15:20	15:40~17:20	17:40~19:20
+建築都市入門 [002]陳見 他 8205、42番教室 21~17	1		1年次 能力別英語	2
	再 +基礎物理 [207]中村賢 8216 22~17(UA、UC合同)	3		
		※対象者は必ず受講 補習授業(基礎物理) [207]中村賢 8216 22のみ	4	

①必修「\*」を履修する！

必ず入学年次を確認！

②履修されている科目は履修する！

③再履修クラスは前期に落とした学生のみ！

後期 水4「基礎数学」

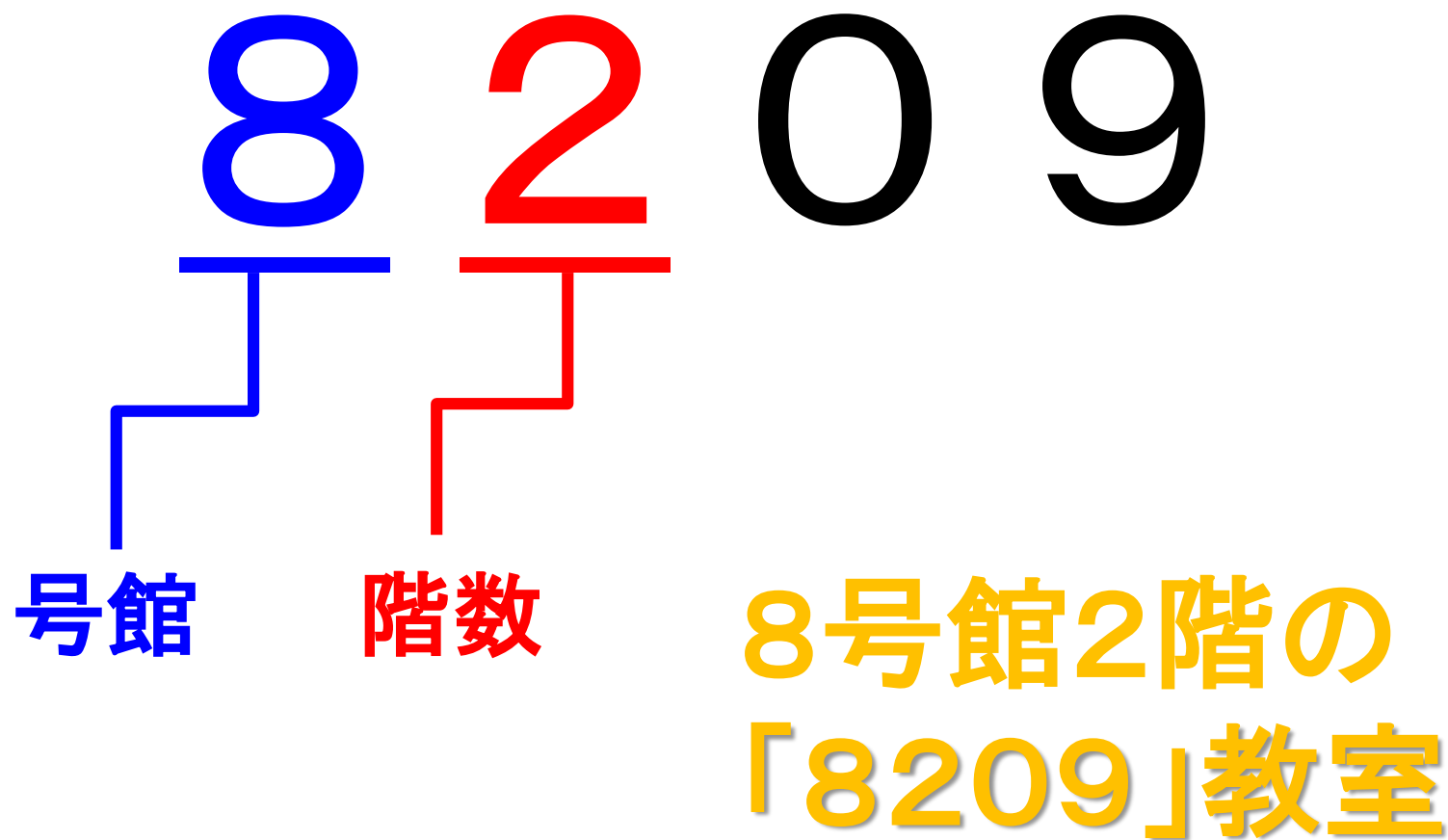
後期 木2「基礎物理」

④「補習授業」が登録されている場合、必ず出席！

1年次で必ず修得しよう



# 授業時間割【教室の見方について】



# 授業時間割【見方について】

## 教室の見方

N101 . . . . . 1号館1階北側 101教室  
2E301 . . . . . 2号館3階東側 301教室  
8315 . . . . . 8号館3階 8315教室  
12107 . . . . . 12号館1階 12107教室  
42番 . . . . . 中央会館4階42番教室  
パソコン教室1 . . . . . 中央会館4階 パソコン教室  
OA2 . . . . . 1号館6階 OA教室2

授業時間割を変更する場合

- ①授業追加
- ②受講者数等の理由で教室変更
- ③担当者変更等

※教務部HPに掲載



履修ガイド+K'sLife利用ガイドにも  
記載されています。

履修ガイドP.6

# 授業時間割【英語クラスについて】

事前に履修登録されている外国語科目

- 「Reading & Writing I・II」
- 「Listening & Speaking I・II」

英語プレイスメントテスト結果によりクラス分け。

4/7に登録されるため、**K'sLifeを確認**すること。



# 基礎教育科目の履修登録について

4月2日(土)に実施した国語プレイスメントテストの結果により、以下の科目が**履修登録されている場合**があります。この場合は**必ず履修し、単位を修得**するようにしてください。

国語科目：「**实用国語(文章力)**」「**人文科学の世界**」  
「**実践クロス講座 (応用国語)**」

★「**大学スタディスキル**」は、履修登録がされています。1年生のゼミ科目になります。担当教員が**クラス担任**になりますので、必ず確認をしておいてください。

# 新規科目の紹介【令和4年度からの科目】

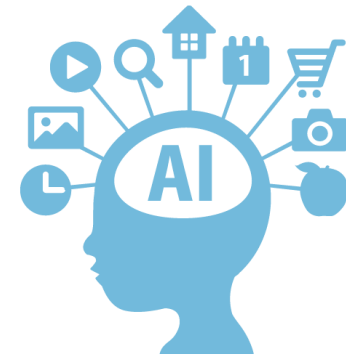
AI導入	AIが社会において与える影響を学び、AIの技術的な仕組みについて学ぶ科目
プログラミング導入	プログラミングに関する基礎知識を深める科目
データリテラシー	高度な数理的分析の前提となるデータの読み方や考え方に関する基本的事項について学ぶ科目
消費者リテラシー	日常生活を送るうえで必ず関わる消費者問題について、その基本概念を学ぶ科目
実践コラボ講座 (ダイバーシティ)	多用な人材（ダイバーシティ）を採用し、彼らの能力を活かして組織にプラスの効果をもたらす人事戦略を学ぶ科目
実践コラボ演習 (SDGs)	SDGsとの関りが、人類と地球との関係に重要な役割を果たすことを学ぶ科目
実践コラボ演習 (AIと社会)	人間とAIとが協働する社会に適応するための講義・演習を行う科目
くらしの中の数学	社会や暮らしに関連した話題について、数学を用いて考察することを学ぶ科目

皆さんの将来に役に立つ授業となっていますので、  
**積極的な**受講をおすすめします。

# AI・データサイエンス副専攻について

## AI・データサイエンス副専攻 ～学部横断型の学び～

- ① 社会において必要とされる、AI・データサイエンスに関する**基礎的な教養を修得する。**
- ② 本学に設置する分野から、横断的にAI・データサイエンスに関する**様々な知識・経験を得る。**
- ③ **体系的な学修を通してAI・データサイエンスの考え方を理解し、活用することができる。**



\* 興味がある学生は学生便覧P.264をご確認ください。

# 履修登録【期間について】

## ●履修登録期間

2022年4月7日(木)10:00～4月9日(土)23:59まで

※**前学期・後学期及び通年科目すべて**上記の期間に履修すること。

## ●前学期履修変更期間

2022年4月11日(月)10:00～4月14日(木)23:59まで

## ●後学期履修変更期間

2022年9月8日(木)10:00～9月21日(水)23:59まで

## ※注意事項

- ①授業内容・教室の規模に応じて履修登録を制限している科目もある。
- ②履修登録期間終了後に履修科目の追加登録はできません。

# 試験【定期試験・追試験】

## 前学期定期試験

2022年7月25日(月) ~ 7月30日(土)まで

## 後学期定期試験

2023年1月16日(月) ~ 1月21日(土)まで

## ○追試験

**病気、その他やむを得ない事由**で定期試験を未受験の学生に対して行う。

追試験を申し出ることができる要件は**学生便覧**を確認すること。



# スケジュール

大学とは

卒業するためには

履修登録の仕方（時間割作成）

大学生活を過ごす上で

# 教職資格等

教職・学芸員・社会教育主事・司書等  
資格取得が可能

## 《教職課程》

1年次後学期から履修開始

**7月頃教職ガイダンス実施（1年次生対象）**

## 《司書・学芸員・社会教育主事》

1年次前学期から履修開始

資格課程ガイダンス（司書・司書教諭・学芸員・社会教育主事）

希望者は以下時間帯に**必ず出席**すること。

**4月7日（木） 17:00～ S201教室**

# 日本学生支援機構奨学金

※高校時に申請を行い「採用候補者」となった学生が対象

**建築都市工学部**

**住居・インテリア学科 1年生**

**日程：4月6日（水）9：00～**

**場所：1号館2階 N204教室**

※なお、高校時に申請していない方で、日本学生支援機構奨学金の貸与を希望される方につきましては、この説明会ではなく、新規在学採用の説明会を別途開催します。掲示板等で日程・集合時間等を確認のうえ、出席してください。ご不明な点については、1号館3階厚生課にお尋ねください。

## 教科書購入Webサイト

[日程]Webサイト公開期間

4/1(金)～5/31(火)

[場所]3号館8階教科書受渡所

4/4(月)～4/28(木)

※4/28以降は1号館横の丸善売店で受け渡し

### ※注意事項

- ・シラバスを確認すること。
- ・購入後の返品ができない場合があるため、履修登録が終了した後に購入すること。



## 100分授業の導入に応じて、 夏季や春季の休業期間の延長

- ◇夏季：7月31日（日）～9月14日（水）
- ◇春季：1月23日（月）～3月20日（月）



## 長期休業期間中の学外での活動を推奨

（例：海外研修・留学、ボランティア等の社会貢献活動、  
インターンシップ参加など）

# 出席

## [本学学生のデータ分析の結果]

---

授業全体の出席率が

 **80%以下** になると、

単位修得率が大きく下がることが分かっている。

急な病気等で休まないといけないこともあるため、

普段から授業にはきちんと**出席**すること！

# 三者面談

- 1 学期途中で出席率が低い学生については、保護者の方へ文書を送付。
- 2 連続して対象となった学生については、**警告文書、退学勧告文書**を送付。
- 3 学期末に出席率.GPA.修得単位数が低い学生については、三者面談。
- 4 改善が見られない場合については、学則に基づく**懲戒（訓告、退学処分）**を行うことがある。



対象にならないように、授業には**必ず出席**すること！

# 本日以降スケジュール

《4月6日（水）》

9:00～9:30

**日本学生支援機構奨学金説明会**

※採用候補者（高校時予約者）のみ

9:30～

**健康診断** 3号館8階

11:30～

**学科懇談会・実習説明会**

8号館3階 8315教室

《4月7日（木）》

10:00～

**履修登録開始**

《4月8日（金）》

**授業開始日**

※詳細は、**新入生オリエンテーション等日程表を確認**



# 教務課からのお願い

## 1. **電話**に出てください

「092-673-5455」は建築都市工学部担当からの大事な連絡です。  
必ず電話に出るか、折り返しの連絡をしてください。

## 2. 学籍情報を**更新**してください

メールアドレス・電話番号が変わったら必ず更新してください。  
住所変更等、K's Lifeで更新できない項目が変わったら、必ず教務課に届出をしてください。

## 3. わからないことは何でも**相談**してください

分からないことがあったら、まずは自分で調べてみてください。  
調べても分からなければ、すぐ聞く、連絡する、相談するなどしてください。

# コロナウイルス感染症の影響に伴う本学の対応

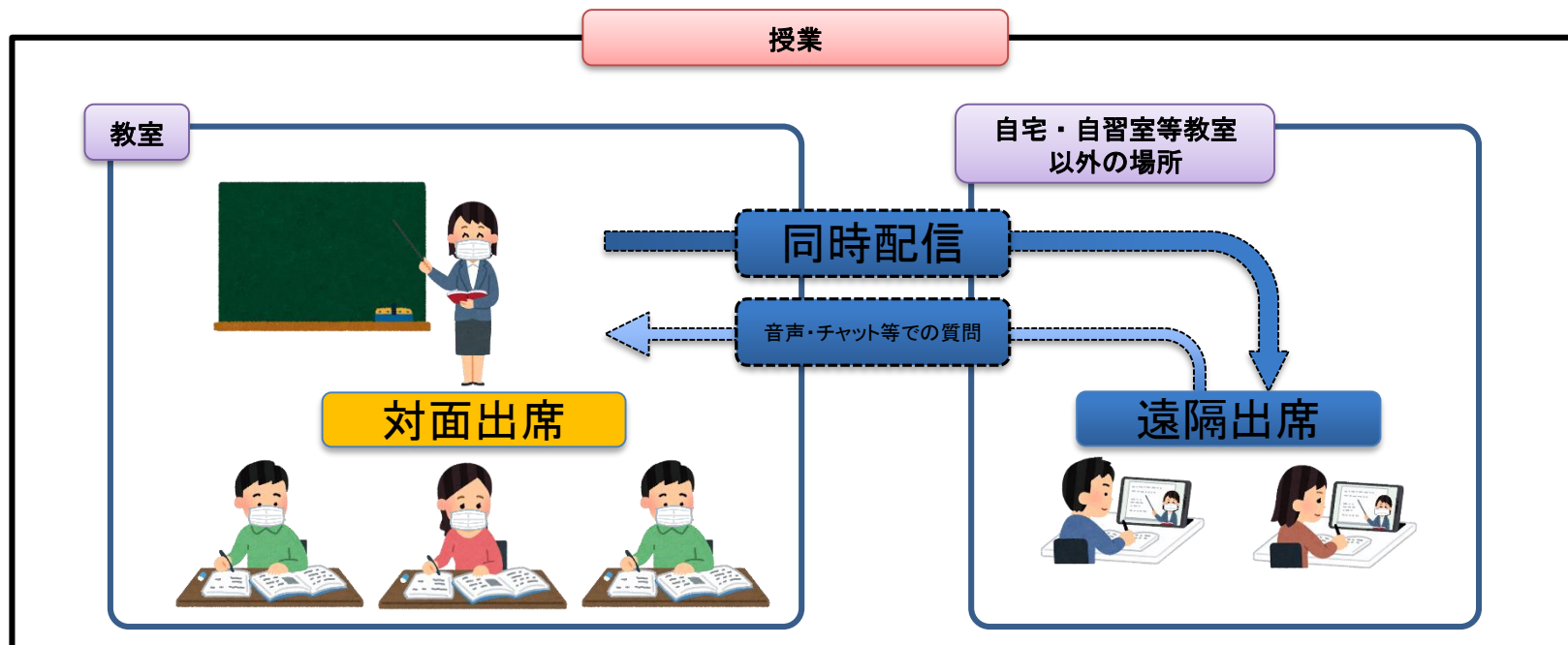
K`s LifeやHPで随時情報を更新していますので、  
**必ず確認**するようにしてください。  
大学への出校等に関わる本学の方針に従い、  
各自、自己防衛に努めてください。

# 授業の実施方法【基本】

レベル1～2における「対面授業と遠隔授業を併用して授業を実施」の方法は、ハイフレックス型とします。

ハイフレックス型とは、教員は原則としてZoomを使って教室で授業を行い、学生の皆さんは対面出席、遠隔出席のいずれかの方法で授業に参加する方法を指します。

## 【ハイフレックス型のイメージ】

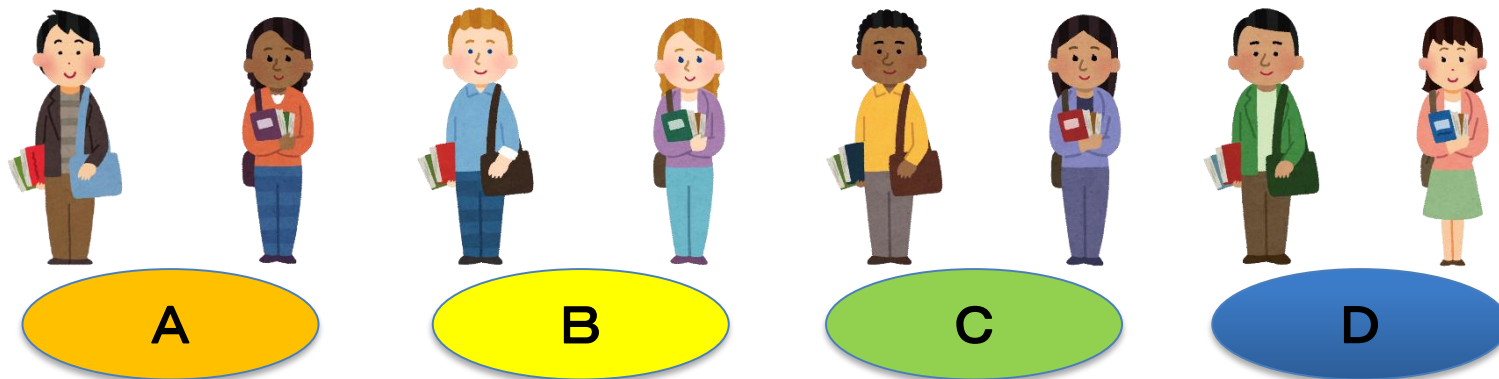


# 対面出席・遠隔出席の調整方法①

- ～グループ分け～

学生の皆さんの受講環境(対面出席と遠隔出席が同日に重ならない)に配慮し、**感染拡大防止と、学修機会の確保を両立させるため**、大学として統一して、以下の方法で出席率の調整を行います。

- ①全学生をA／B／C／Dの4グループに分けます。  
一度、指定されたグループは、基本的に変更しません。



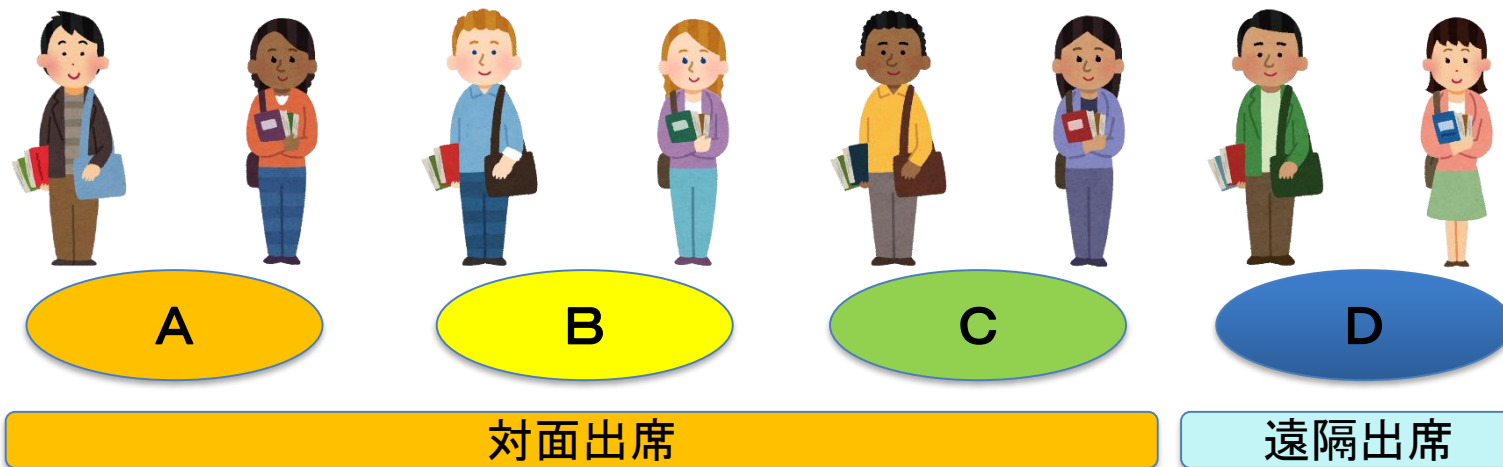
グループ分けの結果は、K'sLifeで通知しているので、確認してください。

# 対面出席・遠隔出席の調整方法②

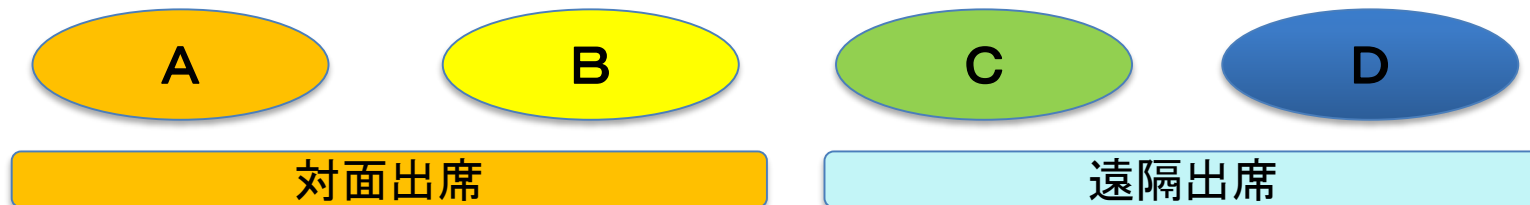
- ～グループ分け～

②レベルに応じて、対面出席のグループを指定します。

【3グループを対面出席とする場合】



【2グループを対面出席とする場合】



# 対面出席・遠隔出席の調整方法③

③実際の出講日については、学年暦のカレンダーを用いて、下記のように対面出席するグループを指定します。指定は学期単位で行いますが、授業期間途中でレベルが変更になった場合は、対面出席グループを再指定し、改めて周知します。

【例：3グループを対面出席とする場合】

4 月						
日	月	火	水	木	金	土
3	4	5	6	7	8 授業開始 BCD ①	9 ABCD ①②
10	11 CDA ①	12 DAB ①	13 ABC ①	14 BCD ①	15 CDA ②	16
17	18 DAB ②	19 ABC ②	20 BCD ②	21 CDA ②	22 DAB ③	23 ABCD ③④
24	25 ABC ③	26 BCD ③	27 CDA ③	28 DAB ③	29 昭和の日	30

※出席グループは、K'sLifeの通知及び大学HPで確認してください。

# 学部学科、授業科目の特性に応じた対応

学部学科、授業科目により、実験実習、演習、ゼミナール科目等については、教育効果を考慮し、遠隔グループであっても、対面での出席を求められることがあります。

その際は、授業科目担当者等の指示に従ってください。

- ・ 遠隔グループであっても、対面での出席を希望する場合は、授業科目担当者に申し出てください。
- ・ 体調不良等の場合は出校しないでください。対面出席のグループの場合は、授業科目担当者に相談してください。

